

## 八王子駅南口集いの拠点整備基本計画（素案）についての パブリックコメント実施結果

多くの方からご意見をいただきましたこと、感謝申し上げます。

ご意見を踏まえて検討した結果、本計画の基本となる部分の変更や大幅な内容変更はありませんでしたが、一部の文章や文言の修正・追記等を行いました。また、施設の整備・運営に関する具体的なご意見については、今後の事業化に向けた検討の参考とさせていただきます。

### 1. パブリックコメント手続きの概要

#### (1) 実施概要

- ・ 実施期間：平成 30 年 10 月 1 日（月） から 10 月 31 日（水） （31 日間）
- ・ 周知方法：広報はちおうじ（平成 30 年 10 月 1 日号）、市ホームページ・Facebook・Twitter、八王子駅北口地下自由通路掲示板及びはちバス車内掲示板へのポスター掲示、資料閲覧・配布場所へのポスター掲示
- ・ 資料配付：市役所（都市総務課、市政資料室）、各事務所・市民センター・図書館、郷土資料館、市のホームページ
- ・ 提出方法：直接、郵送、ファックス、Eメール

#### (2) 素案説明会

- ・ 平成 30 年 10 月 11 日（木）午後 7 時～午後 8 時 30 分（子安市民センター） 参加者 33 名
- ・ 平成 30 年 10 月 16 日（火）午前 10 時～午前 11 時 10 分（クリエイトホール） 参加者 19 名
- ・ 平成 30 年 10 月 16 日（火）午後 3 時～午後 3 時 40 分（中央図書館） 参加者 11 名
- ・ 平成 30 年 10 月 20 日（土）午後 3 時～午後 4 時 5 分（市役所） 参加者 6 名

### 2. 意見の概要

#### (1) 意見の提出状況

- ・ 意見提出者数： 68 名（法人等を含む）
- ・ 意見数： 202 件

#### (2) 意見の分類

(1) 八王子駅南口集いの拠点整備基本計画（素案）の全体に関すること	10 件
(2) 八王子駅南口集いの拠点整備基本計画（素案）の各項目に関すること	188 件
ア. 整備計画	144 件
(ア) 整備コンセプト	11 件
(イ) 整備計画	26 件
(ウ) 導入機能（みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム、憩いライブラリ、交流スペース）	78 件
(エ) その他の施設	27 件
(オ) 施設規模	2 件
イ. ソフト面の考え方	1 件
ウ. 事業手法の考え方	16 件
エ. 整備に向けた今後の検討事項	27 件
(ア) アクセス・プロムナードに関する検討事項	16 件
(イ) デザイン・仕様等に関する検討事項	11 件
(3) その他	4 件
合計	202 件

### (3) 意見の概要

- ・ 八王子駅南口集いの拠点整備基本計画(素案) (以下、「素案」という。) に賛同・期待する意見のほか、素案で示した「みんなの公園」「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」「交流スペース」の機能、設計、運営等に関する意見・提案等がありました。

#### ア. 計画全体について

- ・ 不利な立地条件を踏まえた検討が必要との意見もありましたが、有意義な施設や魅力的な場づくりへの期待等、計画に賛同する意見が多くありました。

#### イ. 素案の各項目について

##### (ア) 整備コンセプト

- ・ 施設・運営の柔軟性・可変性が必要、若年層を意識した施設づくりに賛同、中心市街地との機能分担や相乗効果創出が重要等の意見がありました。

##### (イ) 整備計画

- ・ 建物整備について、周辺環境への配慮のほか、歴史面や経済面から既存の施設・樹木や敷地の高低差活用の意見がありました。
- ・ 活用区域(用地 A~G) の設定についての意見は少なく、市が活用しない用地 H・I について導入施設の提案や住宅立地の制限を求める意見がありました。
- ・ 駐車場の必要性・利便性・規模に関する意見がありました。

##### (ウ) 導入機能

###### a. 施設全体

- ・ 多世代・多様な人が集える複合施設、誇れるサードプレイスを希望する、機能を複合しただけの施設にしないしてほしい等の意見がありました。
- ・ 防災備蓄倉庫や発電設備の設置等、防災機能の確保を求める意見、防災機能を含むサードプレイスの表現に違和感がある等の意見がありました。

###### b. みんなの公園

- ・ 八王子や高尾山の自然・緑を感じられる、子どもが安心・のびのび遊べる、暮らしにゆとりを与えてくれる公園を求める意見のほか、アスレチック・テニス等の運動施設やイベントステージ等の具体的な公園の整備内容の提案がありました。

###### c. 歴史・郷土ミュージアム

- ・ 老朽化が進む郷土資料館の再生・新施設整備の好機である、市民が誇れる施設、見て面白い・体験型重視の施設にしてほしい等の意見がありました。その他、夢美術館や公文書館機能の併設、高尾山等の自然に関する展示、導入の再検討を求める意見もありました。

###### d. 憩いライブラリ

- ・ 子ども連れで利用しやすい空間や蔵書(絵本)、自習室やインターネット環境を求める意見、市民に開かれた多世代が利用できる新しいアイデアを求める意見等がありました。

###### e. 交流スペース

- ・ 椅子やカフェを設置して長時間利用できる、グループ・個人での学習・自習室、イベントや発表ができるホール・ギャラリー等、滞在や多目的利用を求める意見がありました。

###### f. その他

- ・ 平和・原爆資料館、子育て支援や市民相談機能、病院や高齢者向けの医療・福祉施設、映画館・サッカー場等の提案がありました。

##### (エ) 施設規模

- ・ 交流スペースと憩いライブラリの床面積の内訳の提案、イベントや非常時にも利用できるように床面積を広げてほしいとの意見がありました。

(オ) ソフトの考え方

- ・ 利用者の視線も踏まえたソフト面の検討を求める意見がありました。

(カ) 事業手法の考え方

- ・ 民間の知見を活用し開かれた拠点整備を望む、官民連携手法による斬新な発想に期待する等の意見がありました。
- ・ 歴史・郷土ミュージアムや憩いライブラリの管理運営について、民間に全部任せないことや学芸員・司書の配置を求める等の意見がありました。

(キ) 整備に向けた今後の検討事項

- ・ アクセス向上や地域の活性化のための様々な意見・提案（はちバス・送迎バスの運行、道路・歩道の整備等）がありました。
- ・ 施設のデザインについて、シンボル性の高い意匠・利用者目線での設計を求める意見や、設計提案の募集や木材活用の提案等がありました。

ウ. その他

- ・ 用地取得価格や周辺地域を含めたまちづくりに関する意見がありました。

### 3. 意見の要旨と市の考え方

#### (1) 八王子駅南口集いの拠点整備基本計画（素案）の全体に関すること

番号	意見の要旨	市の考え方
1	構想全体の構図は、市民が期待できるものになっており、ロケーションも良いので南口の活性化の拡大に繋がると思う。	ご賛同いただきありがとうございます。今回のパブリックコメントを踏まえて策定した「八王子駅南口集いの拠点整備基本計画」（以下「本計画」という。）の実現に向け、ご意見も参考に事業化に向けた検討に取り組む考えです。
2	八王子市で恐らく初めての施設だと思うので、都内で取り上げられるくらいの有意義な「複合型機能施設」だと、胸を張れるものにしてほしい。	
3	用地は広く、素案にはわくわくする。多目的な広場や図書館機能もあり、全世代に対応できる施設を目指すのは大賛成である。	
4	素案のイメージについては賛成。	
5	このような市民のための交流広場ができるのは嬉しく思う。	
6	「八王子駅南口集いの拠点整備基本計画素案」は、過去に「八王子医療刑務所移転後跡地利用計画」や「新郷土資料館基本構想」にもパブリックコメントを提出して計画の具体化に寄り添ってきたが、「八王子医療刑務所移転後跡地利用計画」や「新郷土資料館基本構想」のパブリックコメントを検討しているときに、皆で思い描いていた内容に大変近く、よくここまで市民目線の基本計画素案を作っただけだと、感慨深いものがあった。	
7	全般的には、様々な視点から検討された熱のこもった整備計画だと思う。市民の暮らしの豊かさ、訪れる人々に対し魅力を感じてもらえる場作りをしていきたいという思いが反映されている点では計画に対して大きな期待を抱いている。	
8	南口集いの拠点期待している。	
9	本計画は、具体的に100年先にできあがった、または、こうなるであろうというものが見えない。本用地の払い下げにより、どのように活用するのが一番いいか理屈付けに腐心した結果こんな計画になったのだと思う。しっかりした100年後の八王子市の姿を先に計画立案し、他市のまちづくりの参考となるようなまちづくりができれば、自然とサードプレイスが得られるものと信じる。 八王子市の悪いところは、100年先のあるべき姿を描き、市と住民が一体となり、その夢の実現に力を傾注できないところにある。本当に住	本事業は、本市まちづくりの重要事業の1つとして、駅からの距離抵抗に負けない魅力を備え、市民の集いの拠点となるとともに、長期的にわたり利用していただける場を目指しています。また、本計画においても、整備コンセプトや今後の留意事項として、可変性・継続性の確保や魅力を維持・向上させるマネジメント等を位置づけておりますので、ご意見も参考に今後の検討に取り組む考えです。

番号	意見の要旨	市の考え方
	民のために必要なものを作るなら、区画整理による方法など色々ある。100年先の人も喜ぶようなまちづくりをしてほしい。	
10	地理的にはむしろ不利な場所であるので、魅力のある箱にしない限り人が集まることはないものだと気を引き締めてほしい。素案は、机上の理想、当たり障りのない提案にとどまっている印象が強くあり、不安がとても強い。	

## (2) 八王子駅南口集いの拠点整備基本計画（素案）の各項目に関すること

### ア. 整備計画

#### (ア) 整備コンセプト

番号	意見の要旨	市の考え方
1	素案は市が直面する多岐にわたる課題に対する配慮が感じられた一方で、市民をユーザーとして捉え、サービスの充実を図るための施設の検討が大半を占めていた。100年というタームを考えた場合、時代背景や市民のニーズが変化することを勘案すると、空間、施設、運営に柔軟性と可変性を持たせる工夫が必要である。若者をターゲットにして、若者をプレイヤーとして受け入れることで、空間の動的な変化が連続して生まれ、その魅力が求心力を持って、多様な交流が育まれる場を維持できる。若者もそうしたまちづくりと場と機会を求めている。	集いの拠点の整備目的であるサードプレイスの提供には、高齢者を含む幅広い市民の利用が大前提であるとともに、子育て世帯に限らない20～30代の若年層の利用も必要となると考え、利用者像を示したところです。幅広い市民の皆さまに利用していただき、整備目的が実現できるよう、ご意見も参考に今後の検討に取り組む考えです。
2	若年層の利用促進の重要性は解るが、高齢率は高い値が示されている。イメージに高齢者等が描かれていないことに不安を感じる。	
3	利用者像は、一定規模の人口を維持することは、市政の重要なファクターであるため、「20～30代の若年層」を意識した施設づくりには賛同する。この場合、具体的には未就学児以下の子どもがいる世帯などを指しているものと理解するが、この世代を意識した施設づくりを考えたときに、「みんなの公園」「交流スペース」については、未就学児のいる世帯を意識した施設づくりがフィットしそうだが、「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」についてはフィットさせづらく、意味づけに無理があると感じる。むしろ、就学後の児童・生徒のいる世帯を意識した施設づくりを考えていく必要があると考える。したがって、その層もカバーした表現として、「20～30代の子育て世代」と少し幅を持たせた表現にすることを提案する。	

番号	意見の要旨	市の考え方
4	中心市街地では、産業交流拠点事業等が進行しており今後大きく変貌するが、それら事業と集いの拠点事業は、それぞれが機能分担し、相乗効果を醸成することにより、市民のための施設や交流人口の創出施設となる。	集いの拠点は、市の中心部に生まれるまちづくりの核となる施設として、地域の活力・魅力を創出する場所を目指しています。本計画の前提条件として整理した用地周辺の都市整備事業には、ご意見にある産業交流拠点の整備も含めておりますので、関連事業との機能分担や連携を十分意識しながら、集いの拠点が八王子の1つのシンボルとなるよう定めた整備コンセプトに沿って、ご意見も参考に検討に取り組む考えです。
5	コンセプトについては、「八王子はちょっと田舎だけど、ここがあるからいいよね!」と言わせる、“ここ”を造る。郊外を活かした街造りをする。点ではなく、点を繋いで面を作る。幅広い年代の人々が通いたくなる場所をめざす。滞在型・自発的学習研究体験型とする。	市の中心部に生まれるまちづくりの核となる施設である集いの拠点は、整備コンセプトに「八王子のシンボル・ブランドへの貢献」を位置づけ、自慢できる施設・サービス、歴史的特色の継承、地域資源の発信等が可能な施設を目指すこととしています。今後の事業化・整備内容の具体化に向けては、整備コンセプトに沿った施設の整備・運営が実現できるよう、ご意見も参考に検討に取り組む考えです。
6	整備コンセプト-八王子のシンボル・ブランドへの貢献については、学びと交流によって八王子のどのような次の100年を形づくるのかが期待できるような具体的な新しさもしくは仕組みについての言及を希望する。「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」から、さらに踏み込んだ内容を期待していましたが、抽象度が上がり、どのようにでも解釈できる一般的な項目になってしまった印象を受けてしまったのは残念に感じた。	なお、次の100年を形づくるための仕組みについては、3.1.1の整備目的において、集いの拠点での学び・交流から人と人のつながりが生まれていくイメージをお示ししています。また、自然については、3.3.3のみんなの公園において、市街地の中の貴重な緑として地域の魅力を高めていくことを位置づけています。
7	八王子のシンボル・ブランドである自然を生かした整備をすることを整備の目的とコンセプトに明確にうたってほしい。整備コンセプトには、八王子のシンボル・ブランドへの貢献と書かれているが、そもそも八王子市のシンボルやブランドはいったい何かと考えた時に、緑の豊かさがまず第一に上げられる。また、水環境の豊かさも八王子のシンボルであると考え。具体的には、ビオトープを作るなど、自然の循環を肌で感じられるような公園づくりをぜひ進めてほしい。	
8	訪れる人に、八王子の魅力を短い時間で伝えられるような拠点整備になるような施設づくりをしてほしい。	
9	生涯学習の場として、世界へ提案できる思想に立脚した施設を建設してほしい。	
10	施設は住民自ら運営する形態としてほしい。	整備コンセプトの複合性・多様性として、市民も含めた多様な主体が積極的に運営参画でき

番号	意見の要旨	市の考え方
		る体制の整備を位置づけておりますので、今後の運営手法の具体化に向けては、整備コンセプトに沿った施設の整備・運営が実現できるよう、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。
11	次世代への負荷を残さぬ考え方に立ち、電力は使わないぐらいの意識で計画し、自然エネルギーを活用し、ブラックアウトが起こっても市民の希望の灯が消えぬシンボルの灯台にしたい。	整備コンセプトにおいて整備・運営による環境負荷の低減を位置づけるとともに、集いの拠点全体の機能の1つに防災機能を位置づけておりますので、今後の事業化・整備内容の具体化に向けては、整備コンセプトに沿った施設の整備・運営が実現できるよう、ご意見も参考に検討に取り組む考えです。

## ア. 整備計画

### (イ) 整備計画

番号	意見の要旨	市の考え方
1	市の中心部の大規模な土地であり長期的なプランに基づく有効活用を図ってほしい。市のイメージアップに貢献し市民の誇りの象徴となるものの整備、新しい公園づくり、周辺用地を買い取り、幅広い年代が集える図書館を中心としたゆとりのある公園を希望する。	活用区域の考え方として、本用地が中心市街地に近接する大規模用地であることを念頭に、整備コンセプトの実現や運営に必要な機能が配置できる区域を活用する考えをお示ししています。また、周辺を含めて、集いの拠点の整備効果が高められる用地の活用も検討することとしていますので、今後の事業化・整備の具体化に向けては、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。
2	整備計画-活用区域-活用区域の考え方については、集いの拠点整備に伴い、八王子駅南口のまちづくりをどのような方向性に進めていきたいのかを示すことを希望する。集いの拠点を整備することによる周辺への影響だけでなく、八王子駅北口地区への影響、ひいては八王子全体への影響をも考慮する必要があると思う。八王子における南口のまちの位置づけや北口地区に対してどのようにまちづくりを進めるのかという方針がなければ、その場その場での声高な少数派の意見によってチグハグなまちづくりとなってしまう、集いの拠点もチグハグな計画となってしまうことが懸念される。今回の整備は八王子市民全体の行動や生活様式に変化をもたらすだけのポテンシャルを秘めていることから、現状の周辺土地利用からは否応なく変化していくことが想定できるが、その変化に後手に対応するのではなく、変化を誘導するようなまちづくりを期待する。	本計画は、本市の都市づくりの基本的な方針を示した「都市計画マスタープラン」、八王子駅南口周辺地区のまちづくりの考え方を示した「八王子駅南口周辺地区まちづくり方針」など、上位計画を踏まえ、その実現に向けた施設整備の基本的な考え方を示したものです。今後の事業化に向けた検討においては、引き続き、上位計画や広域的な視点を持って、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。なお、上位計画の概要については1.2.3 上位・関連計画としてお示ししています。
3	用地Hに（仮称）八王子まつり会館を設置して	用地H・Iについては、現在、本市が取得・活

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>ほしい。(仮称)八王子まつり会館についてはこれまで色々検討されてきたと思うが、中心市街地での設置は用地的に困難である。新郷土資料館基本構想・基本計画(中間まとめ)でのシンボル展示テーマとして八王子まつりが記載されているが展示面積は限られているので、集いの拠点として活用しない用地Hに設置してほしい。集いの拠点の整備後でよい。数台の山車とみこし等を常時展示すればよい。年数回、集いの拠点でのイベント時に、山車を引き入れ祭囃子を演奏し、みんなで祭りを楽しむことができれば、観光客にもPRになると思う。</p>	<p>用する考えはなく、具体的な立地施設は未定ですが、本用地が100年以上にわたり公共的に活用されてきた経過を踏まえ、公共公益的な施設の誘導に向けた検討を行うこととしております。</p> <p>土地・建物の管理については、機会のあるごとに適切な管理を要請しております。</p> <p>なお、国においては、定期的に警備及び樹木の枝払い等を実施していると聞いております。</p>
4	<p>用地H・Iは国有地のままであるなら、防災・防犯・景観の観点から、一刻も早い家屋の解体と樹木の伐採を国に要請すべきである。</p>	
5	<p>説明会でH、Iは公的に近い施設誘導と聞いたが、いわゆる一般住宅やマンション等が建てられないようにしてほしい。</p>	
6	<p>地元である子安3丁目会館の老朽化に伴い、用地Iに町内会館を移転し、利用したい。</p>	
7	<p>基本計画(素案)19頁に3.2.2施設配置の防災機能を持つ公園としての、災害時の利用のしやすさについて、緊急車両の駐車場やヘリコプター臨時離発着場、インフラ・資器材(上下水、災害用トイレ、電源、炊事等)の整備に関する記載はあるが、非常用発電機や非常用備蓄倉庫の設置場所や建物に関する記載は存在しない。災害発生に伴う停電時には、主要な街灯や複合機能施設に非常用発電によって電源を供給する必要があると考える。</p>	<p>災害時に一時的な避難スペースとなる集いの拠点の施設配置は、災害時の利用しやすさに配慮することが重要と考えており、その考え方を施設配置の項目に例として発電機も含めて電源と記載しています。</p> <p>なお、電源を含む、具体的な防災機能については、6.整備に向けた今後の検討事項の1つに挙げておりますので、ご意見も参考に検討に取り組む考えです。</p>
8	<p>「集いの拠点」は駅から距離があり、坂道になっているため、徒歩での来場は困難であり、集客を考える場合には駐車場の整備が重要になると思われる。「集いの拠点」に近く、十分な規模を確保した利便性の高い駐車場を整備すべきである。</p>	<p>駐車場の有無・規模が施設利用者数や渋滞緩和に影響することから、休日やイベント時も考慮した駐車場を整備する考えです。具体的な位置・台数や整備・管理運営等については、ご意見も参考に検討に取り組む考えです。</p>
9	<p>駐車場及び駐輪場は、平置きで広い敷地に味気ない乱雑なスペースとならないように、平置きではなく立体駐車場としてほしい。</p>	
10	<p>駐車場もほしい。</p>	
11	<p>駐車場利用料金は、施設を利用する人すべて無料にしてほしい。</p>	
12	<p>駐車場が広く設置されていると遊びに行きやすく、小中学校での学習の場として利用しやす</p>	



番号	意見の要旨	市の考え方
	いと思う。	
13	北側の日照を考慮してほしい。	施設配置のための配慮事項として施設による日照を明記するとともに、デザイン等に関する今後の検討事項においても周辺地域との配慮を検討することとしています。具体的な施設配置や施設デザインについては今後の検討となりますので、本計画に基づき、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。
14	新設建物の北側への日照は考慮してほしい。	
15	八王子市には様々な歴史遺産に恵まれており、都市のステイタスシンボルといえる裁判所や刑務所も存在していたが、両施設とも移転した。そこで、医療刑務所に関しては、北海道の網走刑務所を参考に、歴史遺産の施設として1棟保存してほしい。単に元刑務所跡として利用するのではなく、史跡として残せないか。	本用地に八王子医療刑務所が存在した歴史や既存施設・樹木等を施設の魅力向上や経費節減等のために継承・活用することについては、本計画の実現に貢献すること、施設の安全性や利用しやすさが確保できることを前提に、6.今後の検討事項にその可能性について検討する旨を追記しました。施設配置やデザイン等は今後の検討事項としておりますので、今後の事業化・整備内容の具体化に向け、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。
16	獄舎の一部及び塀の一部保存、それが無理なら写真集の作成を要望する。八王子市は平成 29 年に市制 100 周年を迎えた立派な歴史がある都市であり、その証の1つが裁判所だった。文化遺産としても数々のものがあり、多摩御陵と高尾山は言うまでもないが、城、刑場、陸軍幼年学校、競馬場など、城はわずかに残ったものの、それ以外は跡形もない。刑務所は市の歴史遺産である。	
17	急な坂の上にある場所で決して公園に適しているとは思えないので、商業地として既存刑務所の特異性を活かして「プリズンホテル」にすることを提案する。施設をできるだけ残してホテル形式で宿泊ができるようにする。発想の転換が必要で、単に公園では、いずれ誰も行かない場所になる。	
18	既存塀は残し、経費の節減を図る工夫がほしい。	
19	日本にも数少ない貴重な医療刑務所なので、建物を壊さず内装をリノベーションして八王子に観光名所を増やしたい。高尾山からの帰りに宿泊も可能な観光地、市民も集える拠点にしてほしい。建物を残せば、監獄カフェや収監者の部屋をホテルのように滞在可能にするなど、ユニークな活用ができる。	
20	大学等の協力を得て、周辺の景観に配慮して、東西南コンクリート塀にペイントをしてほしい。	
21	駅近の広い場所なので、八王子の南口にいけば	

番号	意見の要旨	市の考え方
	「～がある」と有名になり、全世界から人々が集まる様になればいいと思う。例えば、網走刑務所に全国から人々が見学に行く様に 100 年後に重要文化財となり得る、手術室やリハビリ室を保存してはどうか。生涯学習で機織りの実体験やレースガラスに因んでガラスの街にするのも人気がでると思う。八王子の山車、秋田のなまはげ館の様に八王子の車人形や今熊・栢田等の獅子も発信の仕方外国人の人気の街になるのではないかな。	
22	既存の刑務所は、医療に特化したという特徴をいかした博物館等として保存すべきである。	
23	もっと自然を大切にしてほしい。刑務所跡地にはたくさんの樹々が残っているので、むやみに整理しないで、長いあいだ育ってきた樹々を大切に残し、集いの場・市民の憩いの場を作してほしい。	
24	建物を北側に配置して、屋上と南側の高台を繋ぎ、一体的な公園にする等敷地の高低差を活かした活用を図ってほしい。	施設配置については、土地の形状を活かしたり、財政負担軽減につなげたり、様々な観点から検討する必要があるほか、施設運営を見据えた検討も重要となりますので、民間事業者の創意工夫を活かせる余地を残すため、具体的な配置は決定しないこととしました。なお、具体的な配置は決定しないものの、施設配置上の重要な考え方は配慮事項・留意点として整理しておりますので、それらを前提に、ご意見も踏まえ、今後の検討に取り組む考えです。
25	施設配置については、用地 A は芝張りの多目的広場とする、用地 C は建物を配置するなど、一定面積を国有地のまま活用できる工夫がほしい。	
26	用地 E・F・G・H の土地利用計画については、多摩都市モノレール誘導路線との調整が必要であり、現況幅員 20m では 2m 不足するので、このことに考慮した土地利用計画が必要である。	本計画の前提条件として整理した用地周辺の都市整備事業には、ご意見にある多摩都市モノレールの延伸も含めておりますので、用地 E・F・G・H の土地利用計画については、導入空間の確保に十分留意して検討を進める考えです。

#### ア. 整備計画

##### (ウ) 導入機能（みんなの公園、歴史・郷土ミュージアム、憩いライブラリ、交流スペース）

番号	意見の要旨	市の考え方
1	障害者団体としては、JR 八王子駅南口から 10 分の好立地を活かし、高齢者、障害者、子ども、青少年、外国人など多世代と多様な人々が集える複合施設と公園を希望する。保健福祉センターと生涯学習センターを複合したような、図書館、資料館、会議室、展示室、スポーツができる多目的室、音楽室、障害者施設が運営するカ	集いの拠点は、公園、歴史・郷土ミュージアム、憩いライブラリをつなぎ、自由度高く多様に利用できる交流スペースを加えた複合機能施設とすることで、誰にとっても居心地良い場所とするとともに、誰もが充実した時間を過ごせる場所となるサードプレイスを目指しています。特に、交流スペースでは、集い、交流、学習等

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>フェができると良い。障害者のグループホームの建設には反対が強く、地域で暮らすために、カフェ店員として接客や厨房で働く姿を見て、日頃から障害者に自然な形で接することで障害者への偏見を払拭できる。できれば高齢者あんしん相談センターや障害者の相談支援センターができ、安心して気軽に相談でき、緊急時にショートステイができる場所があれば家族は安心する。また障害者や高齢者は車の必要な方もおり坂の上の土地は駐車場スペースになると助かる。</p>	<p>の機能導入を考えており、様々な学びや交流の機会を提供する場とする考えです。今後の事業化・整備内容の具体化に向けて、複合機能施設としての効率的な運営と付加価値高いサービスの提供を目指し、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。</p>
2	<p>みんなの公園に設置する建物名を『ファミリー館』として運営し、三世代が共有できるスペースとしたい。フリースペースでは、三世代が楽しめるログハウス造り等のイベントを企画したい。カフェスペースでは、孤食が増える時代や食品の無駄について考えるため、子ども食堂の経営とフードバンクの利用を希望する。ここでは、地産地消を取り入れてほしい。</p>	
3	<p>セレオ八王子、新しくできるオーパをお昼や夕食に利用しながら遊べる大変立地に恵まれた場所だと思うので、ぜひ有効に使える場所にしてほしい。</p>	
4	<p>市民が利用できる施設内に東京都 1 番を誇るサードプレイスを望む。ライブラリは、八王子市・近隣市に魅力ある図書館が無いため、市民から贈書・寄付募集し、都内で 1 番の蔵書数を持つライブラリとする。ミュージアムは、ただ飾って見るだけでは子供達は無関心で思い出に残らないので、1 番体験できるミュージアムとする。公園は、市内桜が寿命・病気で枯れて伐採されており、新たに市民が来園する都内で 1 番の桜の名所とする。</p>	
5	<p>色々な施設を複合的に配置するのも大事だと思うが、どれも中途半端な存在になってしまうことが心配であり、目的をしばりその目的を充実させることも選択肢の一つだと思う。出来れば「歴史・郷土ミュージアム」は廃止し、そのぶん「みんなの公園」や「憩いライブラリ」の拡大や機能強化を希望する。</p>	
6	<p>学びについては、素案にあるように環境や文化・スポーツなどに関するミュージアムやライブラリがあることで学びができる公園となり、公園としてはポリシーを持った公園であるこ</p>	

番号	意見の要旨	市の考え方
	とを意味し、長く市民に愛される基盤となる。ミュージアムとライブラリは、災害、エネルギー、郷土芸能、物産・産業、今の八王子市、健康、スポーツなどについて学べる施設とする。	
7	こどもから老人まで集えるところがほしい。ウォーキングコースやフィットネスなどの軽運動ができ、小グループでの活動ができるミーティングルーム、多世代が集えるスペース、本が静かに読める場所としてほしい。	
8	コンセプトを拝読し、すぐに「これは実現可能」と、ピン！と来た。ぜひ韓国にある、旧薬学研究所跡地をそのまま市民がイノベーションする公園として設立した「ソウル革新パーク」へ視察にいつて欲しい。 「ソウル革新パーク」では図書スペースと区切らなくても、壁という壁が本棚になる可能性があるような感じで、どこでも飲食自由、24時間出入りOKである。たぶん日本のどこにもまだないと思うので参考にしたいとこどりして、八王子が全国に先駆けて持続可能な市民と観光客の集いの場をつくれたら嬉しい。	
9	「みんなの公園」に子供と遊べる公園や図書館が併設されていることはとても楽しみである。	
10	既存建物を利用し、防災備蓄倉庫を新設してほしい。	防災機能は集いの拠点全体として重要なものと考えており、本計画では、災害時の一時的な避難スペースとして利用できることの安心感も含めて、学び・交流・防災機能の相乗効果で「サードプレイス」を実現する考えをお示ししております。
11	防災については、太陽光等自然再生エネルギーの発電・蓄電設備の設置・稼動することで、避難場所等のほかに災害時の発電・蓄電場所とする。災害時の電力の安定供給は重要かつ必要性も高く、平常時のエネルギー問題や環境問題の解決への展開も期待できる。	なお、具体的な防災機能については、6.整備に向けた今後の検討事項の1つに防災機能を有する公園として必要な空間・施設のあり方も挙げておりますので、具体的な防災機能やその配置について、ご意見も参考に検討に取り組む考えです。
12	防災機能の備えは、ライフラインの機能維持、災害時早期復旧のためのバックアップ体制が可能になる。	
13	災害時の避難所として、細部まで考えた施設としてほしい。	
14	防災エリアとしての機能確保をしてほしい。	
15	基本計画（素案）22頁に3.3.2全体機能の最後に、学び×交流×防災＝サードプレイス（図3-5）とあるが、この表現には少し無理がある。防災という言葉は、サードプレイスが意味する「とびきり居心地よい場所」と合致しないと思う。21頁のサードプレイスの全体イメージ（図3-4）とも整合がとれていないと思う。ここで	

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>いう防災とは、3.3.3 みんなの公園に記載されているとおり「誰もが、ゆったりと心地よい時間をすごせる防災機能がある公園」のことと思うが、それを防災の一言で表現するのは少し無理があると思う。</p>	
16	<p>素案にある、学び×交流×防災＝サードプレイスの表現はとてもよい表現だが、実際の実施順序としては、防災＞交流＞学び→サードプレイスとして進めて行くのがよいと考える。</p>	
17	<p>導入機能-全体の機能については、集いの拠点の機能を「学び×交流×防災＝サードプレイス」と表現することに違和感を覚える。個人的にサードプレイスと聞くと、近所の井戸端や地域コミュニティといった社会的交流型を思い浮かべるため、集いの拠点であり「みんなのサードプレイス」という表現には少々矛盾を感じてしまう。また、空間として「居心地の良い」という意味でサードプレイスという表現を使っているのであれば、あなたにとっての居場所が見つかるという意味を込めた「ベストプレイス」の方がわかりやすいと思う。サードプレイスというとなんだか新しくてよい雰囲気があるように感じられますが、その実態が「学びと交流と防災」機能を複合しただけのよくある公共施設で終えないことを願う。</p>	
18	<p>これだけまとまった公共用地の取得は今後は望むべきではないかもしれないので、多くの市民が集える広場や芝生の部分もほしい。</p>	<p>みんなの公園は、市街地の中の貴重な緑として地域の魅力を高めるとともに、イベント等の場としてつながりを生み出すまちのシンボルとなる公園を目指しています。</p>
19	<p>公園には、季節を感じる落葉樹と常緑樹を取り混ぜて植えてほしい。草花だけではなく樹木のある立体感のある公園にしてほしい。夏でも木陰の深い公園はありがたい。</p>	<p>緑のなかでのジョギングや読書、マルシェ等のイベントやボランティア等の緑を通じた交流、多世代の健康づくりやのびのびと子どもが遊べる空間、災害時の一時的な避難スペースなどでの利用などをイメージしています。</p>
20	<p>八王子の自然や木を生かしたこどもが外遊びできる場所が欲しい。少しの水遊び場や屋根もあるとよい。八王子の木や自然を生かしたちょっとした公園が駅周辺にはない。小さい子がまわりに気兼ねなく自由にこどもらしく遊べる場所は必要だと思う。八王子駅周辺は今マンションもたくさんできておりこどもも増える。八王子がさらに活気づくためにはこどもらしくたくさん身体を動かして自由に遊べる公園は南口周辺に必要だと思う。</p>	<p>みんなの公園が、居心地よく、より多様な活用を可能とする空間となるよう、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。</p>
21	<p>八王子市民の誇りと憩いの場となるような、美しい建物・木々の並ぶ公園を造る。いつでも誰</p>	

番号	意見の要旨	市の考え方
	でもそこに行けて、ゆったり過ごせる場所。市民の暮らしにゆとりを与えてくれる場所ができればいいと思う。	
22	みんなの公園は、できるだけ樹木の多い緑の空間とし、子どもの冒険的遊びができる公園として欲しい。	
23	<p>「みんなの公園」-(2) 導入機能-「■景観形成機能」は、高尾山の植生は、東京都に残されている唯一のまとまった広さの原生林であり、地質学上も、植物学上にも、大変貴重なものであり、みんなの公園には、その一部のエリアに高尾山の潜在植種であるカシ、ブナ、コナラ、モミなどを中心に樹木設定した「高尾山の森」を安全にも配慮した仕様で配置し、子どもから大人まで気軽に高尾山の自然を楽しめる経験を提供する場としてはどうか。森だけではなく、谷合を流れる小川を模した水の流れ、そして下流域にはビオトープを配し、自然の循環を感じることでできる八王子らしい自然体験も可能なジオラマの構築を期待する。これによって、山、川、植物や虫などとのふれあいから、八王子ならではの「自然を慈しむ心」を育むことができ、ここで高尾山の自然を経験した子育て世代が高尾山に行き、本物の自然を経験する追体験から、「自然を慈しむ心」の段階的成長が期待でき、「歴史・郷土ミュージアム」の中に、高尾山の自然やその成り立ちの歴史を学べる展示を配置することで、体験による学びと教材による学びの往来が可能となり、「学びの相乗効果」が期待できる。高尾山には登れない方でも、ふるさとの森を体験でき、「自然を慈しむ心」や、「地域愛」を育むことができる。</p>	
24	暑さ対策に緑の力を生かして進めてほしい。公園では、過ごしやすさが重要になってくる。緑を活用した暑さ対策やミストの活用など、新たな研究成果を生かした、潤いのある環境整備をしてほしい。	
25	訪れる人が自然の心地良さを感じることができ、来るのが楽しくなるような公園づくりをし、また、そこで感じた自然の心地よさを自宅でも再現したいなと思ってもらえるような取り組みをしてほしい。公園での自然体験をすることで、もっと自然を感じてみたいと思ってもらったり、あるいは、自然のよさを住宅にも取	

番号	意見の要旨	市の考え方
	り入れた暮らしをしたいと思ってもらえるような公園づくりができたらいいいのではないか。	
26	「楽しい、リラックス、優しくなれる」自然環境が豊富なエリアとしてほしい。	
27	一番切望するのは、子どもが遊べる公園、スポーツができる公園をぜひ考えていただきたい。子供が小学生のころ、よく相模原麻溝公園に行ったが、駐車場も入園料も無料にもかかわらず、大変充実している。とても広い広場、たくさんの種類があるフィールドアスレチック広場、遊具のある広場、ポニーやリスがいるふれあい動物広場などがあり、1日中遊べたので、ぜひ参考にしてほしい。テニスコート、サッカーコートがあるのもいいと思う。中高生の大会などで使うことが出来れば、コートの確保の問題も少しは軽減すると思う。JR と京王線と二つの駅が近く、大変アクセスがいいと思う。テニスコートは他にもあるが、なかなか予約がとれないことも多いので、ぜひこのエリアにもつくってほしい。ゲートボールコートも作ってもいいかと思う。	
28	みんなの公園は、子供に人気の公園の特色を研究したり取り入れたり、地形（坂）を活かした子安町ならではの公園にして欲しい。今後、子安町エリアでこんなにまとまった面積を確保できることはほぼないので、ありきたりな遊具を中途半端な数で設置するのではなく、複合遊具等、子供心をくすぐるような工夫ある遊具を多種多様に配置し、半日位はあきずに楽しく過ごせる公園にして欲しい。	
29	母親が子ども連れで安心して遊べる公園と、育児支援センターがほしい。	
30	こどもがのびのびと遊べる場所がほしい。	
31	みんなの公園に、多世代が楽しめるフィールドアスレチックを造ってほしい。私は中学生だが、公園で遊びたくても小さな子どものための遊具しかなく、中高生がアスレチックをする機会が減っている。八王子市にはアスレチックが少ない。大人用の健康トレーニング遊具を改良し、アスレチック要素を入れてほしい。アスレチックを難易度ごとのコースとして設置し、ターザンロープなど高低差を活かし、移動を重視したり、頭を使うアスレチックを造ってほしい。	

番号	意見の要旨	市の考え方	
32	地元住民による総合防災訓練等を実施し、防災公園として利用してほしい。		
33	防災機能を備えた公園が近くにあることは、災害時の帰宅難民を救ったり、住民が安心安全に暮らせるという面でありがたい。		
34	ここ数年ペット可のマンションが急増していることもあり、八王子駅近辺の犬の飼育数はかなり増加していると思われる。そこで、マナー講習等の実施も必要であるが、ドックランやペット用に特定の時間帯で使用可能なスペースの設置をしてほしい。		
35	学生が歌や踊りを気軽に発表できるステージ風広場を造り、若者が集まる公園にする。公園の名前は、「八王子憩いの公園 Hachioji Rest Park」はいかがか。		
36	用地 A・B・C の一角に、高齢者の健康増進の為、グランドゴルフ用地を整備してほしい。		
37	農業体験、家庭菜園の場をつくってほしい。自然を求めて越してきた若いファミリー世代が子供と農業体験や家庭菜園ができ、また、広い農地はいらないけれど農業をしたい市民も利用できる。農業経験のある高齢者が管理人として在駐することで、多世代の交流の場となる。		
38	公園については、人的資源も含め最大限に八王子のパワーを動員し、市民を巻き込み、盛り上げる機運を醸成するために、野外イベントやコンサートを開催する。人が集まることで公演は交流の場として認知される。加えて、健康に対する意識が高まっている昨今、ランニング・ウォーキングコースの設定とナイター設備を設置する。公園に来場者が増え、八王子駅南口に活気がでる。素案自体は医療刑務所跡地の活用ではあるが、周辺地域との共生・調整は不可欠であることからすれば、地元商店と来訪者との交流も交流の一つとなる。		
39	公園は既に市内に 800 近くあり管理費も年間 12 億円かかっており、反対である。公園に人は来ないと考える。		
40	今後、これだけの用地を確保できる機会はないが、かといって広大な用地ではないため、あまり多機能を求めると、かえって中途半端になる可能性がある。郷土資料館の再生は、何十年来の課題。博物館機能を含め、この機会しかチャンスがない。そこで、①本市の成り立ちと歴史、		歴史・郷土ミュージアムは、集いの拠点の整備目的の1つである、まちへの愛着やシビックプライドの醸成を図る上で重要な役割を担う施設として導入する考えです。この歴史・郷土ミュージアムは、本市の歴史・文化等の豊富な地域資源を活用し、地域を見て・触れて・感じる



番号	意見の要旨	市の考え方
	地域特色をしっかりと表現する、②収蔵室面積を本館内地下及び廃校を利用し、十分に確保する、③学芸員の確保と指導できるレベルの高い学芸員の養成、④博物館機能ではなく博物館の設置を要望する。その上でサードプレイスの利点を生かしてほしい。	ことで、八王子に対する愛着や誇りを育むキッカケの場を目指し、歴史系博物館として収集・保管、調査・研究等の基本的な機能のほか、協創機能、ネットワーク機能を導入し、その実現を図る考えです。体験学習や効果的な展示手法に取り組むことで、体験学習プログラムへの参加、まちの歴史の探求等での利用をイメージしており、今後の事業化や整備・展示の内容等の具体化に向けて、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。
41	運営の中身あるいはコンテンツとしては、八王子のこれからをイメージさせるものとしてはやや弱い。郷土資料館は、「未来の八王子」を構想していくものとしては保守的でダイナミックさに欠けるのではないかと。先進的なイメージを作っていくのは重要な要素であり、新しい文化や技術にもっと目を向ける必要がある。八王子は大学も集中しており、協力を得ることができると思う。文化についても、クラウドを利用したIoTの流れで考えていくべきである。図書館などを含めたオンラインのコンテンツも発信する場所にもなれるのではないかと。コンテンツとまたそのコンテンツを創造、維持していく設備を再考する余地がある。	なお、自然については、歴史や文化財を支える周辺環境の一つであると認識しておりますので、本計画の一部である「新郷土資料館基本構想・基本計画」において示す目指す博物館にその旨を追記しました。 美術館については、現時点では、併設する考えはありませんが、文化芸術や自然も本市の地域資源の1つとして継承することは重要と考えております。 公文書館機能については、集いの拠点に必要な具体的機能の検討に合わせて検討する考えです。
42	素晴らしい構想であり、歴史・郷土ミュージアムを中心に、憩いライブラリーや美術館を併設し、交流スペースを設け、学習環境ができればよい。八王子市が他市と差別化できる一番の特徴と力は、豊かな歴史遺産であり、この歴史を通じて、子供や市民が学びながら育まれていくのが理想的な自治行政の在り方ではないかと。そのためには、市職員等が歴史・郷土ミュージアムを積極的に訪ね自己研鑽し、仕事に反映していくことで、子供達や市民にも反映できると思う。そのためにも、原始時代以来現代に亘るまでの文化遺産の展示と共に、人類の歩みが読み取れる展示でなければならない。	
43	歴史・郷土ミュージアムを主体に八王子の文化の中心として整備をしてほしい。八王子には文化の拠点は無いので、市民だけでなく都民も行ってみようという拠点にしてほしい。既設の郷土資料館は、老朽化が相当進んでおり、50万都市の資料館として新しい施設が必要である。学芸員が一生懸命企画しても、今の狭い部屋の企画展ではインパクトがなく人は集まらない。歴史・郷土ミュージアムは、文化都市八王子に見合う、美術館・博物館に特化し、施設規模を拡大し計画すれば、早く計画が進み、市民交流の場	

番号	意見の要旨	市の考え方
	が自然と生まれてくるのではないか。『夢美術館』と統合し、八王子の文化の拠点にしてほしい。	
44	歴史・郷土ミュージアムは、現郷土資料館が老朽化し手狭なので、中途半端なものではなく市民が誇れるものが望ましい。たくさんの郷土資料があり、全て収蔵庫に納まるのか心配な点もある。学生の見学も大切だが、展示及び空間づくりは大人も満足できる質量と工夫が必要である。コミュニティ形成の場としては、教育的イメージが強く、憩いの広場のコンセプトから少しはずれてしまうので、見て面白い博物館的な資料館になるといいと思う。	
45	導入機能-歴史・郷土ミュージアム-導入機能については、八王子の歴史文化的建造物等を集いの拠点へ移築・保存・活用することについての記載を希望する。実際に足を運び往時の養蚕建築や茅葺屋根の空間を体験できることは意義深い。また、新たな伝統をつくりだす公共施設モデルとなるよう協創機能に産業振興・起業支援機能を追加することを希望し、実現するための仕組みを提案する。集いの拠点を用途的にも空間的にも「新たな公共（的）施設」とするために鍵となるプログラムは歴史・郷土ミュージアムだと思う。これまで蓄積されてきた知見を応用することによって新たな文化や伝統を協創していく産業振興や起業支援の枠組みが必要だと考える。そのために、伝統手法を応用した新規起業支援用のお試し店舗を設置したり、プロムナード内は PPP 手法を応用して新規起業した人向けに底地を条件付き無償で貸し出す、集いの拠点から八王子駅までの沿道に買い回り行動が発生する服飾・物販系の店舗を誘致するなど、駅から集いの拠点までの道のりで、過去から現代、そして未来へと継承されていく八王子の文化や技術を辿ることができるようになる。	
46	歴史・郷土ミュージアムは体験型重視で、サイエンスドームのように小学生が学校から団体で行ける施設にしてほしい。火起こし体験などをもっと頻繁に行う。土器のイベントなどもよかった。もっと周知してほしい。	
47	「歴史・郷土ミュージアム」- (2) 導入機能-「■博物館機能」は、現在の歴史・郷土ミュージア	

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>ムの博物館機能には、「自然」の観点を含んでいないものと捉えているが、八王子の特色といえは「自然」は欠かせないまちの要素であり、高尾山や浅川流域など、「人と自然の響き合い」があってこそ八王子市民らしい地域愛が育まれるものと思う。歴史・郷土ミュージアムの中には高尾山の自然やその成り立ちの歴史を学べる展示をすることで、体験による学びと教材による学びの往来が可能となり、「学びの相乗効果」を發揮する仕掛けを構築してはどうかと考える。</p>	
48	<p>郷土資料館の基本構想に加え、さらに自然を取り入れたミュージアムをつくって欲しい。博物館に、自然の要素を盛り込み、博物館法に基づいた博物館を実現してほしい。</p>	
49	<p>八王子繊維貿易館の空きスペースを利用して、（仮称）織物博物館（または織物ファッション博物館）を早急に設置し、織物、ファッション関係の資料、器具、機械等を展示し教育的及び産業的な活用をしてほしい。八王子織物は400年の歴史があり展示できる貴重な資料等が多数あるにもかかわらず、現在の郷土資料館ではあまり展示できていないようだ。貴重な資料等を保管庫に所蔵するのは、教育的及び産業的に大きな損失である。集いの拠点の完成は、最短で2023年になりそうなので、今後5年間は展示等何も変わらないことになる。5年間何もしないのは教育的及び産業的に大きな損失である。平成30年4月に示された八王子中心市街地活性化基本計画でも、八王子繊維貿易活用事業として「八王子繊維貿易館の空きスペースにおいて、地域のコミュニティの核となる活用を行う」としている。</p>	
50	<p>八王子の伝統継承のためには、レースガラスの周知をしてほしい。</p>	
51	<p>現在の郷土資料館もよく行くが人が来ていない。移転するにしても市民会館跡地でいいのではないか。</p>	
52	<p>歴史郷土ミュージアムは、特に必要のない施設のように思う。外国人が観光に来るレベルでの大きな特色があるのであれば、税金を投入する意味があると思うが、ほぼ興味がひかれない。市内施設の現状や費用対効果を検討した上で、本当に必要なのかを検討してほしい。</p>	

番号	意見の要旨	市の考え方
53	夢美術館を併設することを提案する。夢美術館は、民間テナントビル内で中心市街地からも遠距離で市民には不便な立地環境にある。50万都市にふさわしい公共施設に移転し、郷土資料館との相乗効果で集客を図ることを期待したい。アカデミックな文教施設の要素も取り入れることを希望する。	
54	医療刑務所跡地の近くに住んでいるが、郷土資料館、図書館が作られるということで、大変よいと思うが、一緒に、夢美術館も移転してきたらどうか。	
55	建築計画については、複合機能施設に「公文書館機能」を加え次の100年に継ぐ工夫がほしい。	
56	憩いライブラリは、三多摩全市的視点に立って充実させてほしい。	憩いライブラリは、子どもから大人までが、気軽に読書に親しむとともに、学びをきっかけとした交流や価値が生まれる場を目指し、図書館機能、学習・交流機能、利用促進・滞在機能を導入するとともに、交流スペースに導入する各機能と融合させることで、その実現を図る考えです。ニーズに応じた書籍・絵本を提供するほか、様々な学習・交流機会の提供や親子連れ・グループでの話し声を許容する雰囲気があることで、親子で絵本を楽しんだり、利用者同士の交流が生まれたりする利用をイメージしており、今後の事業化や整備内容の具体化に向けて、ご意見も参考に、交流スペースの機能も含めて検討に取り組む考えです。
57	憩いライブラリは、賛成である。子供の小学校で図書が必要になる機会に、近隣の図書室では蔵書数が少なく、まったくと言ってよいほど利用ができなかった。中央図書館は、子安町からは遠く、駐車場数が少ないので、借りるのも返すのも不便に感じ、あまり利用できていない。出来れば、中途半端なレベルにせず、きちんとした蔵書数を確保し、利用がしやすい図書館にして欲しい。人口比率に比べて図書館数の多さが全国一位の山梨県が、健康寿命も一位などの話を、先日テレビで見たこともあり、税金をしっかりと投入しても、十分に市民の納得も費用対効果も得られるように思う。また、子連れの方や高齢者が借りた図書を複数冊持ち運ぶことを考え、駐車場数をきちんと確保して欲しい。	
58	ライブラリには自習室を設けてほしい。	
59	図書エリアに、「音響」「映像」の視聴室やインターネット操作ができるコーナーを設置してほしい。有効に使えると調べものや憩いも可能なスペースになる。	
60	憩いライブラリの図書館や絵本の蔵書やスペースの充実もお願いしたい。子供達にたしかに教養が何より必要と考える。南方面は図書館がなくこどもの絵本や児童書、大人の本など気軽に借りたりできると教養も身につくと思う。	
61	憩いライブラリは、貸出はせず、基本そこで読書することをメインの機能とする。児童書中心の図書館で、子ども連れの若いファミリーなど	

番号	意見の要旨	市の考え方
	<p>が、それぞれゆったり楽しめるスペースがあるとよい。広いスペースと個々のグループが気兼ねなくくつろげるスペースをそれぞれ用意する。小さい子どもは一人では本を読めず、必ず保護者のもとで、本を開くことになるので、周りに気兼ねしないですむ居心地のいい空間が必要である。貸出できない図書館は公園のようなもので、そこでいかに楽しく過ごせるかが大切だと思う。子どもにとってはもちろん、付き添う保護者にとっても居心地のよい空間を作らないと、親子で通う場所になれないと思う。滞在型なので、外の空気が入る広々とした読書室を作る。公園の一部のような、開かれた庭を持てるといい。雨天でも過ごせる屋根のある場所があるといい。利用者の対象は何歳ころまでの子どもを考えるのか。図書館には書庫が必要だが、そのスペースはあるだろうか。視聴覚資料の視聴ブースを作ったらどうだろうか。参考図書や一般書も少し所蔵する。成人の人がその場で楽しめる写真集、地図、美術系絵画全集、建築全集などを置く。母親層をメインの対象と考えるなら、料理、育児、医療の本も所蔵するか検討が必要。</p>	
62	<p>憩いライブラリには、読み聞かせの広場と、立川の漫画図書館のような有料でもよいので人を呼べる施設がほしい。自習スキルの場には、無料塾の取り組みがあるのでぜひ提携をしてほしい。</p> <p>子ども服などのバザーを定期的に行える場所がほしい。</p>	
63	<p>図書館については、付加価値に目を付けているのも妥当かと思うが、郷土資料館的な施設では、よっぽど強い箱でないと厳しく、こちらをメインコンテンツとするのであればそれはかなり甘い見積もりに見える。図書館には、図書ばかりでなく多くの媒体を所蔵できるので、SNSの隆盛の流れで一定の盛り上がりを見せている「コンテンツツーリズム（聖地巡礼）」を取り入れた連携や展示を提案する。当市をロケ地や舞台とした作品をフィーチャーし体系的にまとめ、コンテンツホルダーと連携を取ること、既存の蔵書とも紐づけすることができれば、「市主導の新規箱モノの図書館で体験型展示をする」ことの意義が見出せるように思う。</p>	

番号	意見の要旨	市の考え方
64	憩いライブラリは、普通の図書館ではなく、市民に開かれた、子供から大人が喜んで利用できる施設がよい。今ある図書館の統合ではなく新しいアイデアで、立川にあるような“マンガ図書館”のような場所がほしい。料金を徴収してもよい。大学の図書館と憩いライブラリーを連携してほしい。	
65	交流スペースは、目的・機能をはっきり持たせ、恒常的な利用を期待する。カフェは、手軽でおいしい軽食コーナーや、子どもが利用するので、他に子どもが入らないような静かなカフェもあるとよい。・オープンスペースは、飲食物持ち込み自由で、気兼ねなくしゃべることができるテーブル席をテラス席なども含めて広く用意する。ミーティングルームは、様々な勉強会も出来る部屋で一部屋だけしかなくても、眺めのいい部屋とかがあったらいい。自習室は、中学生から成人まで、静かに読書・勉強できる場所を用意する。広く明るい大机や、仕切り机など、成人の資格試験勉強にまで対応でき、天井高く、窓も大きく、かつパソコン持ち込みもOK とする。市内全域からそれでもわざわざあそいで勉強したいと思わせる、魅力的な自習室を作る。フリースペースは、ワークショップ、ギャラリーなどをも催すことが出来る場所も作る。	交流スペースは、公園、歴史・郷土ミュージアム、憩いライブラリをひとつにする、自由度高く多様に利用できる場を目指し、集い・学習・交流・レクリエーション機能のほか、利用促進・滞在機能を導入し、その実現を図る考えです。飲食できる居心地良い空間・椅子が配置されたり、自由度高い空間を活用したレクリエーションが提供されることで、自習や講座で学んだり、市民発表会や各種スポーツ等のイベントに家族で訪れたりする利用をイメージしており、今後の事業化や整備内容の具体化に向けて、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。なお、カフェ等を導入する場合の運営者は今後の事業手法の検討において、検討に取り組む考えです。
66	交流スペースには、椅子等多く設置して、多くの人が長い時間利用できる施設にしてほしい。	
67	市民の行きやすい場となるよう、多目的に使えたり、ゆったりできるスペースがほしい。	
68	喫茶店をつくり、福祉作業所が共同で運営し、作業所で作ったお菓子等の販売を行い、そこで障害者が仕事として勤務できる体制を作してほしい。障害のある人もない人も一緒に作業（仕事）ができる環境も合わせて作ってほしい。	
69	憩いの場活性化のため、民間物品販売を大いに活用してほしい。民間施設が入ることは集客や活性化につながり良いと思う。図書館と喫茶施設があれば、本を読みながらコーヒーを飲むことができ是非行ってみたい。	
70	小さく区切られた部屋は、起業したい、NPOで経営が厳しく仕事場を借りられないなどのひとたちに市場価格より安く貸し出すなどし	

番号	意見の要旨	市の考え方
	て、市民の企業力を後押しできる。	
71	外と中に全ての市民の方達がみんなで折り紙やお手玉、読み聞かせや季節の行事の工作、何もないただの芝生のスペースやベンチなどがあると利用しやすく賑わうと思う。	
72	町会会館のような市民が集える場を作ってほしい。	
73	狭い土地を有効的に使い、防音機能を持つホールや市民の絵等の趣味の展示がしやすい部屋をたくさんつくってほしい。	
74	イベントスペースでは、音楽イベントのできる、パンなどを販売するカフェを設け、市民の教養を深める。学生や市民の絵画や作品が飾れるギャラリーを作り、親しみを持ってもらおう。通路の壁も簡単に絵が飾れるようにし、市内の小中学生の作品を飾れるようにして親しんでもらおう。	
75	交流スペースに、高齢者健康管理スペースを常時開設し、認知症予防体操教室の開催や、健康管理のための栄養士、予防インストラクターなど、常駐できるシステムがほしい。	
76	集い・交流機能の場として小ホールがほしい。合唱などの発表の場として使え、写真展等ができる場が欲しい。映画上映もできたら嬉しい。	
77	小さな音楽会ができる 100～200 人規模のホールをつくってほしい。	
78	ボルタリングとスラックラインとトランポリンができる施設がほしい。	

ア. 整備計画

(エ) その他の施設

番号	意見の要旨	市の考え方
1	平成 27 年 12 月の「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」に対し、原爆資料館の併設を提言したが、八王子市は昨年 10 月に平和首長会議に加盟したこと、日本政府の考え方や国際情勢の変化、海外旅行者の増加を受けて、再提案する。本用地は国有地ということで、八王子市民だけのものではなく、国それ以上に世界規模の観点から見るべきである。歴史郷土ミュージアムの常設展示室に展示をしてほしい。また、被爆遺贈品の保管スペースの設置も検討してほしい。	本計画では、平和・原爆関連施設を集いの拠点へ導入することは考えておりませんが、本市での空襲等の歴史も踏まえ、平和の大切さや戦争の悲惨さを伝えられるような歴史・郷土ミュージアムの時代別展示・企画展示のテーマ例として掲げておりしていますので、今後の事業化や整備・展示の内容等の具体化に向けて、ご意見も参考に、八王子の歴史や文化をわかりやすく紹介・解説できるよう検討に取り組む考えです。
2	「八王子平和・原爆資料館」の資料等に移設し、	

番号	意見の要旨	市の考え方
	展示・関係図書の閲覧ができるようにしてほしい。関東にある歴史的資料や書籍を保存し、市民が閲覧できるスペースを作ってほしい。	
3	歴史・郷土ミュージアムのなかに、八王子大空襲の資料館を充実させてほしい。体験者が少なくなっていくなか、平和の大切さを伝えるために充実させてほしい。	
4	集いの拠点に、八王子原爆資料館をいれてほしい。平和都市を宣言している八王子は、未来にわたり原爆や核の悲劇を伝える必要がある。	
5	八王子駅南口の再開発に、原爆平和資料館をいれてほしい。こども達の未来と平和のために、核（原爆）の事実、実態、恐ろしさを伝えていく必要がある。アクセスの良い八王子駅南口に置いてほしい。	
6	八王子平和・原爆資料館は、開館以来 21 年間被爆者や市民団体などの手で運営・維持管理を続けている。発足の実機は市内在住の被爆者が所有する原爆関連図書を市へ寄付したいとのことだったが、拒絶され次善の方策として市民による運営となり、現在に至っている。被爆後 73 年が経過するなかで、関連図書など当館への寄贈が相次いでいる。被害者より直接体験を聞ける機会が途絶えようとしている。公的施設として「八王子平和・原爆資料館」を設置し、非核平和都市宣言を具現化する施策に位置付けてほしい。	
7	憩いライブラリや歴史・郷土ミュージアムの中に原爆平和資料館の貴重な資料の展示コーナーを充実させてほしい。非核平和都市八王子として、平和の大切さを後世に伝え続ける義務があると思う。	
8	歴史・郷土ミュージアムに原爆資料館の資料も一緒に展示してほしい。	
9	母子支援スペースを常時開設し、入園待機乳幼児、放課後児童支援などを行ってほしい。	本計画では、ご意見にある施設を集いの拠点の導入施設として位置づけておりませんが、公園のほか、屋内にも自由度が高く多様にできる交流スペースを導入する考えですので、農産物やスポーツチーム等の地域資源や様々な文化・スポーツ等に触れられるイベント等の開催、行政相談等の一時的なサービス提供等の可能性について、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。
10	小中学生が集える児童館が欲しい。近くの児童館が北野にしかなく、また老朽化しているため、勉強や遊びができる場が欲しい。特に、4 年生以降学童保育がなくなったときの子どもの居場所の確保は必須。	
11	以前、八王子駅南口には婦人センターがあり、家庭と子育てで忙しくしていた母が嬉しそうに通っていた姿を思い出す。現在は、社	



番号	意見の要旨	市の考え方
	会に出て働く女性が増え、仕事、家庭、子育ての忙しさのなかで、足を運べる婦人センターのような施設を希望する。和室や調理室がほしい。	集いの拠点の一部として付属する場合等を除いて、原則として映画館や商業施設等を整備することはできません。
12	曜日で専門が代わる代わるに市民の相談窓口を設置してほしい。	
13	介護、医療、教育等の相談機能を持った拠点を造ってほしい。	
14	映画館を作ってほしい。以前は八王子市に存在していた映画館を利用していたが、現在は他市に存在する施設を利用しており、八王子で観たい。	
15	必ずしもこの場所である必要はないが、シネコン誘致をしてほしい。八王子駅前に映画館がなく、結果として、他市などに人が流れている。時代の流れとして、ライブ的なエンタテインメントの需要は高まっており、適切な運営が行われれば収益は見込まれるはずである。	
16	とちのき坂近辺には、買物等ができるスーパーがなく不便を感じているのでスーパー等を誘致してほしい。	
17	小さい子どもがお買い物体験ができる個人商店の食べ物やさんが入ってほしい。	
18	八王子医療刑務所跡地を社会人サッカーチームである「アローレ八王子」の本拠地としてほしい。	
19	Jリーグ公式試合が可能なサッカー場の設置をしてほしい。サッカー場を設置する理由は、①地域の一体感を感じることで住民のコミュニケーションが増える、②スポーツ文化・青少年育成としてつながる、③地元商店街の街おこしになるような賑わいが生まれる、④イメージアップや知名度向上に繋がる、ことである。	
20	道の駅を造ってほしい。かなり広い駐車場となり車で来る来園者も多くなるはずなので、道の駅として十分に機能すると思う。歴史・郷土ミュージアムのお土産や八王子伝統工芸品や、八王子産の野菜や食べ物なども売ることができ、八王子市の宣伝にもなる。国道16号などの大通りが集中しているので道の駅とすることが可能である。	
21	労政会館が2年後になくなることもあり、日	

番号	意見の要旨	市の考え方
	本の伝統文化の継承と発展のために、お茶室やお茶用の庭などがほしい。身近に感じることができ、皆に楽しんでもらいたい。	
22	和室の広間と小間の茶室を造ってほしい。茶だけでなく、和室の空間を楽しめる場として活用できると思う。作る場合は専門家とプランニングしてほしい。	
23	複合機能施設に、「広間」「小間」、それぞれに「水屋」「寄付き」「男女別トイレ」を備えた「茶室」を建設して欲しい。茶道具類を搬入する際、茶道具類は多種にわたり重いものも多いので、茶室付近まで車が乗り入れるように配慮してほしい。	
24	献血ルームを作ってほしい。	
25	南多摩の病床数の補充のため医療施設を設置してほしい。	本計画では、高齢者施設・医療施設・住宅等を集いの拠点の導入施設として位置づけておりませんが、集いの拠点として活用しない用地H・Iについては公共公益的な施設の誘導に向けた検討を行うこととしておりますので、ご意見は、その際の参考とさせていただきます。
26	周辺市と共に高齢者施設を設置してほしい。高層の病院を建てれば多くの人が入れる。八王子市は高齢者施策がなっていない。	
27	DEF 地区は、働く女性向け待機児童ゼロ・高齢者拡大・増加の対策施設として、自走式地下駐車場・ショッピングモール・保育園・高齢者介護施設・病院を併設する郊外で1番高い高層分譲タワーマンションを誘致する。	

ア. 整備計画

(オ) 施設規模

番号	意見の要旨	市の考え方
1	交流スペースは憩いライブラリと合わせ約4,500㎡だが、交流スペース 3,500㎡、憩いライブラリ 1,000㎡とし、更に交流スペースを、学びを主目的とするスペース 1,000㎡、交流を主目的とするスペース 2,500㎡とする。学びを主目的とするスペース 1,000㎡は、主にミュージアムが利用するスペース 500㎡、主にライブラリが利用するスペース 500㎡とする。交流を主目的とするスペース 2,500㎡は、カフェ、フリースペース等とする。集いの拠点全体を、小中学校のイメージで考える。公園は憩いの場であるとともに交流スペースとなる学校の校庭、ミュージアムとライブラリは学びの場となる教室、交流スペースは体育館である。また、階数は3階程度が適している。2階建てでは見栄えがよくなり、土地の効率的な利用にならず、	施設規模及び各施設の内訳については、導入施設の機能を実現すること、既存施設の課題への対応等を考慮したものです。実際の整備面積については、整備目的の実現や効率性等の観点から、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。

番号	意見の要旨	市の考え方
	ミュージアムやライブラリの利用者が公園の騒音を受けやすい。	
2	複合機能施設（建物）は、イベントの開催や非常時の避難場所として利用できるように、もう少し高層建てとして床面積を広げてほしい。	

#### イ. ソフト面の考え方

番号	意見の要旨	市の考え方
1	利用する側の視線も踏まえソフト面での心配りもお願いしたい。	集いの拠点は、平成 28 年 3 月に策定した「八王子医療刑務所移転後用地活用計画」（以下「活用計画」という。）において施設運営等のソフト面を重視することを位置づけ、本計画においてもその考え方を継承しています。具体的な内容については、本計画の策定後、施設規模等を踏まえ、多様なニーズに応えられること、気軽に利用できること、社会情勢の変化に対応すること等のポイントから検討することとしておりますので、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。

#### ウ. 事業手法の考え方

番号	意見の要旨	市の考え方
1	民間の知見を活用し、開かれた拠点整備を望む。	整備・運営の手法については、本計画の策定後に、活用区域等を踏まえて検討に取り組むこととしており、本計画では運営等のソフト面やコストパフォーマンス面で効果的で効率的な事業実施が期待できること等の考え方のもと、PFI 事業等の官民連携事業手法も含めた想定事業手法をお示ししています。今後の検討の留意点として、市民等意向の反映機会や民間事業者の提案余地・機会の検討をお示しております。特に、施設運営等のソフト面については、活用計画を策定した際から一貫して重視しておりますので、ご意見も参考に、財政面や選定手法等も含めて事業手法の検討に取り組む考えです。
2	事業の主体は市民であり、市民が参加できる計画が必要であるので、事業手法は市民が参加できる事業としてほしい。官民連携といっても DBO 方式では市民の意見は受け入れられないので、従来の公共事業として行う（時間が必要）あるいは PFI 事業方式にしてほしい。	
3	想定される事業手法は、想定される事業手法の中に、官民連携事業手法として「PFI 事業」を含めていることを高く評価する。民間と手を携え、その力を活用していくことは、官だけでは生まれにくい斬新な発想が形になっていくことが期待できると考えるからである。一方、UR 都市機構による防災公園街区事業という立て付けは、屋外の「みんなの公園」の構築には不適合ではないと考えるが、「歴史・郷土ミュージアム」「憩いライブラリ」「交流スペース」を構築するプレイヤーとしては、民間に委ねるのが適切だと考える。また、検討の留意点は、「有料サービスによる収入減の確保と、自主財源による経営」を加えることを提案する。公費で運	

番号	意見の要旨	市の考え方
	営を賄うことで市政を圧迫することがないように、運営上の収入だけで経営していける魅力のある拠点としてほしい。	
4	事業手法の考え方については、市民にも公開した形での公募型プロポーザル方式による設計者選定についての記載を希望する。施設整備から運営に留まることなく、周辺のまちづくりや整備までを首尾一貫して効果的・効率的に事業実施できる優れた設計者を選定するためには、市民もその選定の一部に携わっていくことが大切だと考える。公開プレゼンテーション等を設け、優れた提案や事業進行のできる設計者を市民と一丸となって選定するのがよいと思う。	
5	本事業を、市民のために、無駄なお金を使わず、絶対に失敗・後悔しないように進めていただきたい。	
6	説明会で話しを聞き、郷土資料館への思い等を聞いた。少し現実的ではないように感じたが、家や建物を造るときも色々な思いがあるものの、地域の調和などを考えながら造ることはみな同じ。新しく建築物を造り管理運営する際、特定の法人や私人が、金儲けのために参入しないよう、透明性を保って欲しい。たくさんの市民のために大切な税金を有効に使うて欲しい。	
7	空間構成は、若者が住める住居、広い屋外空間、コアとなる施設（提案されている諸施設）によるものとし、運営は、多世代による協議会とサポートする役所と企業が行うことがイメージできる。どう作るかよりも、どう使うかについて、魅力的なヴィジョンと、継続的に関わる仕組みを示すことで、シビックプライドの醸成につながる道筋が見えると思う。コンペでアイデアを募るのも良いと思う。	集いの拠点の運営を直営とするか否か、学芸員・司書の配置のあり方、官民連携事業とする場合の役割分担等は、本計画の策定後に具体的な検討に取り組む予定としておりますので、本計画の実現に資する運営手法を含めた事業手法について、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。 なお、いただいた御意見を踏まえ、本計画の一部である「新郷土資料館基本構想・基本計画」
8	八王子駅南口には現在図書館がないので、憩いライブラリが入るのは嬉しい。民間の書店に委託するような図書館にはしないほしい	において示す管理運営計画の方向性に、八王子の豊かな歴史や文化を守り、伝えるために必要なハード・ソフトを備えた施設として運営して
9	郷土資料館は一度見学に行った。寄贈物でいっぱいだった記憶。新しくなるので、見学や体験ができ、学芸員やガイドボランティアに直接対応してもらえるようにして欲しい。学芸担当者は現在の8人以上を希望する。	いく旨を追記しました。 また、留意事項として良好な周辺住環境への配慮を明記しており、どのような事業手法になった場合も施設・敷地の管理は適切に実施する考えです。
10	図書館は必ず司書を配置し、管理運営を民間に全部任せない管理にして欲しい。	
11	憩いライブラリと歴史・郷土ミュージアムは市	

番号	意見の要旨	市の考え方
	営としてほしい。歴史・郷土ミュージアムには学芸員の配置をお願いしたい。	
12	図書館は市の直営とし、民営にはしないしてほしい。司書も置いてほしい。	
13	複合施設となると不特定多数の人が利用するが、問題点として、①騒音、②治安維持、③交通渋滞(救急指定病院があるので救急車両の通過に支障はないか) ④粉じん、⑤公園の門限はあるのか、⑥警備の方は常駐するのか、をどのように考えているのか。また、①建物解体時の騒音、②振動、粉じん対策についてどのように考えているのか。	
14	施設利用者以外が敷地内に長く留まることのないよう、敷地の管理運営にも配慮してほしい。	
15	ムクドリやタヌキ等への今後の衛生面の処理もお願いしたい。	
16	高齢化社会に向け、高齢者等の採用を積極的に行い、公園整備や飲食店の運営など再就職先として活用してほしい。	

## エ. 整備に向けた今後の検討事項

### (ア) アクセス・プロムナードに関する検討事項

番号	意見の要旨	市の考え方
1	集いの拠点の利用者のための駐車場は造らないでほしい。大勢の人出が予想されるので、駅から散策してくれると街ににぎわいが生まれ活性化する。用地周辺は静かな住宅地で細い道路が入組んでおり、駐車場への入庫待ち、駐車場探しで静かな環境が損なわれる。駅からのシャトルバスの運行、駅周辺のコインパーキングの利用を提案する。	アクセスは施設の利用状況を左右する重要な要素と認識しており、本計画でも、今後の検討事項に位置づけ、徒歩、公共交通、自動車等、様々なアクセス手段を想定し、快適性・安全性・利便性の観点から検討することとしております。アクセスを向上させるための歩行者空間の形成や公共交通の利便性向上、また、自動車アクセスの利便性向上や周辺への影響軽減のための自動車動線の設定や出入口・駐車場の配置等について、ご意見も参考に、関係機関とも連携し、検討に取り組む考えです。
2	中核市にふさわしい街づくりの観点から、市内外の人が容易に集まれる工夫と、広域的な人々の動線の確保が課題である。そのためには、以下の3点を求める。①JR 八王子駅と京王片倉駅を想定した施設配置計画と、東西南北4ヶ所の出入口の確保が必要である。②アクセス道路のうち国道16号線は未整備のため早期に事業化してほしい。③十分な駐車場スペースが必要だが、用地D・E・F・Gに一定台数を確保してもイベント時等の不足が見込まれるため、八王子南バイパス道路のトンネル上部空間(約18,000㎡)の一部を隔地駐車場として活用してほしい。	

番号	意見の要旨	市の考え方
	い。	
3	集いの拠点は中心部より近い良い位置にあるが、相当な坂なので良いアクセスを考えてほしい。アクセスが良くないと人は訪れない。“集いの拠点”のみを再開発してもあまり効果がないので、八王子南口周辺（南口駅前）を含めた市の再開発が必要ではないか。集いの拠点に行くまでに、商店街を計画してほしい。八王子南口より集いの場に楽しみながら、坂を気にしなくても拠点に行ける工夫が必要と思う。バリアフリーを考えた動く歩道（部分的でも）等車いすでも苦勞しないで訪れることのできる集いの拠点を作ってほしい。多摩モノレールを早く近くまで計画してほしい。	
4	民間施設の送迎バスに公園前で停車してもらえるよう交渉する。八王子駅南口からは徒歩7～8分とはいえ登り坂である。他施設との相互協力にもなるのではないか。	
5	計画地は坂道の途中にあり、幅広い市民が来場しやすいアクセスについての配慮が重要となる。中心市街地、JR 八王子駅南口、集いの拠点を循環する「はちバス」の運行も、まちの回遊性と恒常的集客の向上に有益と考える。	
6	八王子駅から高尾山等の遠方施設を含めた各施設への無料送迎バスがあると観光客も集まると思う。	
7	当該地は駅から坂道で大変。はちバス等で市内を循環して欲しい。	
8	広い駐車場が必要だが、八王子駅から800mの距離と坂の上にあることから、はちバスを運行する。八王子駅南口から富士森公園やエスフォルタアリーナを経由して高尾駅南口までの区間とし、憩い・知的好奇心・スポーツを楽しむカルチャー・スポーツエリアを形成する。料金は1乗車100円程度とし、1時間に3～4本運行する。	
9	車利用では、道程での消費効果を得られ難い。八王子駅南口からのとちの木通りを活性化し、道程を楽しんでもらい、店舗等での経済効果を狙う。とちの木通りを花々で飾り、ボランティアに手入れをしてもらう。	
10	高齢者にとってアプローチしやすい道路整備等の工夫がほしい。	

番号	意見の要旨	市の考え方
11	国道 16 号ととちの木通りの二つの道路が渋滞なく、スムーズな流れになり、近隣の住宅の交通の妨げにならないようにしてほしい。また、現在の狭い道路の見直しも必要だと感じる。	
12	南口の急坂をうまくクリアできる方法が必要である。	
13	八王子駅から本用地までは坂道である立地の魅力を十分引き出し地域産業の活性化を目指すために、動く歩道のようにしたらよいと思う。駅からの便がよければ、ベンチャー企業を誘致でき、新規起業家へのセミナー開催や創業支援地域として活性化できる。	
14	将来のモノレール延伸をふまえ、とちの木通りにモノレール駅ができるようなスペースを作っておく。	
15	プロムナードはあまり広さをとつてももったいない。ベンチがないと不便で、暑かったりすると日陰のほうに行ってしまう。	
16	子安町地区の混雑緩和や西部方面からのアプローチのため、国道 16 号側の出入口を設置してほしい。	

エ. 整備に向けた今後の検討事項

(イ) デザイン・仕様等に関する検討事項

番号	意見の要旨	市の考え方
1	市内には多くの大学があるので、その大学の建築科の学生から設計を募集してはいかがか。若者のクリエイティブでユニークなアイデアを活用し、新しいまちづくりを目指してはどうか。	集いの拠点のデザインについては、土地イメージの刷新や地域ブランドの向上に寄与することが重要と考えており、公園と建物との調和や周辺地域との調和を図りつつ、シンボル性の高いものを目指すとともに、ユニバーサルデザインや木材利用等、利用者の利便性・快適性や環境面にも十分に配慮したものとなるよう検討することとしています。設計者や設計者の選定方法を含めたデザイン等については事業手法とも関連しますので、今後の事業手法の検討において、ご意見も参考に、検討に取り組む考えです。
2	かっこ悪い施設にしないほしい。	
3	建築物は塀の周囲から確認できる高さを確保し、シンボル性の高い意匠としてほしい。	
4	八王子に新しいシンボル施設を計画してほしい。八王子市は、宿場町、織物、絹の街道として栄えてきたところであり、ここでシンボリックな集いの拠点を計画できないかと思う。憩いの場は公の設計コンペで広く新しいアイデアを募集してほしい。八王子市は緑化プロジェクトを実施し、自然を大切にす都市であり、緑豊かな山々に囲まれているので、木材を主体とした施設を計画してほしい。	
5	計画決定・推進に当たっては一層の住民参加と周辺大学等の専門家の協力を仰ぎ、公園づくり	

番号	意見の要旨	市の考え方
	における事例研究をしてほしい。	
6	緑のなかに、高層の建物はいらない。	
7	健康 Health を重視した木質素材を利用（地産材の活用ほか）してほしい。	
8	南口のエスカレーターはアプローチが不便であり、1階の植林スペースの有効利用がされていない。エレベーター設置は、市民の足を無駄に動かしており、高齢者向けの建物設計になっておらず、不便である。	
9	市の既存施設のように舞台付の部屋で、舞台の前を通過して客席に行くような設計はやめてほしい。	
10	バリアフリーの思想に立った施設や運営とすべきである。障害者や高齢者はもちろん、マイノリティに留意したエリアとしたい。	
11	女性用トイレは、男性用1:女性用4はほしい。	

### (3) その他

番号	意見の要旨	市の考え方
1	用地取得時の既存建物・樹木の撤去費は本来国が負担すべきものであるため、交渉時には少しでも安く取得できるように尽力してほしい。	国の処分等価格については、法令に基づき適正な対価とされ、不動産鑑定士等による鑑定評価に基づき算定されると聞いております。なお、契約額については、見積り合せを実施した上で決定されますので、市としても、取得するための価格を適切に算定する必要があります。今後、国が行う鑑定評価がどのような前提で行われるか十分に確認を行い、取得に向け必要な手続きを進めていく考えです。
2	遊歩道・サイクリングロードを整備する。集いの拠点と八王子駅南口・片倉城址公園まで遊歩道を整備し公園の奥行きを広げ、その遊歩道に沿って自転車専用ゾーンを作れば自転車使用者の利用を促すことにつながる。	本用地の周辺地域を含む、広域的なまちづくりについては、本市の都市づくりの基本的な考え方を定めた都市づくりビジョン八王子等の上位・関連計画に基づき、進めていく考えです。現在、具体的な事業予定はありませんが、ご意見も参考に、今後のまちづくりの検討に取り組む考えです。
3	京王片倉近辺の地下道路開発と関連付けて、緑豊かで住みやすい街づくりを希望する。京王片倉駅と JR 片倉駅のアクセス改善も一緒をお願いしたい。	
4	私が参加する 協議会の研修会で「八王子市役所」に集合してバス等で現地（会場）に行く場合、南大沢から市役所までは、八王子駅を経由しバスを利用して行くと 1 時間余の時間がかかる。八王子医療刑務所跡地の集いの拠点にバスの発着と集合場所の設定をして頂くと、移動時間が節約でき、交通の便も良いと思う。	ご意見があったことを、協議会の事務局に伝えます。